



県外研修にて（写真中央が真船さん）

# とちぎ次世代人材づくり 2015に参加して 真船 由佳さん

この研修に参加させて頂き、研究のサブテーマでもあつた“みんながいきいき輝く”を目指して、地域の人々が自己実現し、生きがいを持つて暮らしていく仕組み・環境づくりに携わっていきたいと考えるようになりました。

まずは自分自身がやりたいことを地元で実現していくこと。そして、すでにそのような生き方で輝く人たちがロールモデルとなり、地方で暮らす楽しさを外に向けて発信していくこと。それが地域へ関心を持つきっかけとなるのです。私が、那須で思いを形にしていく方々と出会えたことで、

那須町からは真船由佳さん（横沢）が参加し、感想を寄せていいただきました。

この町で暮らしていく楽しさと可能性を見出せるようになったのです。

人「減少が続く中、住む人が愛着を持ち、誇りを持てる町になり、観光地としての「行きたい」から踏み出し、「生きたい」と、暮らしたいと思える町になるためには何が必要か、自分にできることは何かを探し考えていくたいと思います。

まだまだ具体的ではなく、私は微力ですが、人の出会いとつながりを大切にして、研修で得たことを活かし動いていきたいと思います。

▼練習日時 5月28日㈯・6月25日㈰ 午後1時30分～3時 ※以後随時お知らせ予定

▼会場 芦野公民館

▼曲名 「大切なものの」「もみじ」「WAになつておどろう」

▼講師 青木 澄子先生

▼会費 1,000円(大人のみ)

▼発表 秋の那須町音楽祭

▼申込み・問合せ 実藤 和子

☎ 26333

## 町民合唱団員募集

期間限定 第4回



季沙 沙 友

地域おこし協力隊の活動レポート Vol. 05

協力隊の制度や現状活動について講演を実施

那須町で5度目の春を迎えることが出来ました。新緑の美しい季節ですね。ロイヤルロードに広がる“緑のカーテン”を今年も見事が出来ると思うとワクワクします。協力隊の活動がスタートし5カ月になります。少しづつですが、声をかけていただく機会が増え嬉しい限りです。これからも様々な場所に出没しますので、友光をよろしくお願いします。

今回は、私が那須町に移住したきっかけをお話させていただきまます。遡ること5年前。20歳まで埼玉県上尾市で過ごし、ホテル学校への進学をきっかけにホテル業界へ。電車通勤と忙しなく過ぎる日

常は想像できず、リゾートホテルへの就職を決めました。配属先は実家と祖父母宅（山形県）の中間地点である那須町を選択し、2012年の4月から新生活がスタートしました。初の一人暮らし、社会人生活を那須町で経験。鶯の鳴き声で日が覚める春、昼の空が高く夜は涼しい夏、紅葉で滞在する秋、雪が深々と降る中フクロウの鳴き声で帰宅する冬…と生活をする上で毎日が驚きと感動の連続でした。昨年の夏に体調を崩しホテルを退職しましたが、那須町を忘れることが出来ず再び協力隊として戻つてきました。1ターンで那須町に来た私が、那須町へUターンをする。他の協力隊とは少し異なるかも知れませんが、これもありかなと思います。

最後に少しだけ活動の報告をいたします。とは言つてもまだ具体的な活動報告が出来ないのでが、少しづつ課題を洗い出し解決方法を模索しています。那須町の地域おこし協力隊は、自らのアイデアで活動をしています。私はアイデア+地域の方の要望をマッチング出来たら大きな可能性に繋がるのは、と信じています。独りよがりでは出来ない地域おこしです。皆様の力も時には必要になりますので、気軽にお声をかけてくださいね。